

## \*\* Financial Market Outlook \*\*

Financial Market Outlook

新型コロナウイルス累計感染者数は2億人を目前
------------------------

## &lt;サマリー&gt;

(5/18)国内のGDPが3四半期ぶりにマイナス。

(6/30)新型コロナウイルスの累計感染者数が1億9,000万人を突破。

## &lt;トピックス&gt;

**I: 日本/世界経済トピックス**

- 4月28日、バイデン大統領は「米国救済計画」、「米国雇用計画」に続いて、第3弾となる「米国家族計画」を発表した。1兆8,000億ドル(約196兆円)のプログラムで所得再分配による人・教育への投資を行い、中低所得者層への教育や職業訓練を通じて経済成長を支援する内容で、インフラ投資など長期的な経済成長に必要とされる労働力の確保が期待される。
- 5月18日、内閣府は2021年1月-3月期の実質GDP成長率が5.1%減だったと発表した。マイナス成長は3四半期ぶりで、緊急事態宣言の再発令により国内の経済活動が大きく制約されたことが響いた。
- 6月15日、米連邦準備理事会(FRB)は連邦公開市場委員会(FOMC)の定例会合で、政策金利を0.00~0.25%に据え置くことを決定した。パウエル議長は「景気見通しは、引き続き感染状況に左右されるが、今年の実質国内総生産(GDP)成長率は過去数十年で最も大きなものになる。」と発言した。
- 6月30日、世界全体の新型コロナウイルスの累計感染者数が1億9,000万人を突破し、世界全体の死者は400万人を突破する見通しとなった。国別では1位がアメリカ、続いてインド、ブラジルとなり、ヨーロッパでは、フランス、ロシアをはじめ感染の拡大に歯止めがかからない状態が続いている。昨年ワクチン接種を開始したイギリスでも、より感染力が強いインド由来の変異株(デルタ株)が拡大し、感染者数が再拡大している。

**II: 株式市場動向**

- 2021年第1四半期(4月~6月)は、6月15日にFRBがFOMCを開催し、市場の予想通り、ゼロ金利政策と量的緩和の維持を決定したが、「政策金利水準の分布図(ドットチャート)」でタカ派的な見通しが示されたことで、市場は金融政策の正常化が早まるとの見方に傾き、ダウ平均などの主要株式指数は軒並み下落した。

### III: 為替相場

- ドル円相場は米景気の回復期待を背景に、4月から5月にかけてドル高基調が継続した。また6月にパウエル議長がFOMC後の会見で、テーパリングに向けた予備的協議の開始に言及したことを受けて金融市場では、利上げの織り込みが進展し、その結果、円は一時1ドル=111円10銭と14ヶ月ぶりの安値をつけた。

### IV: J-REIT/不動産関連セクター動向

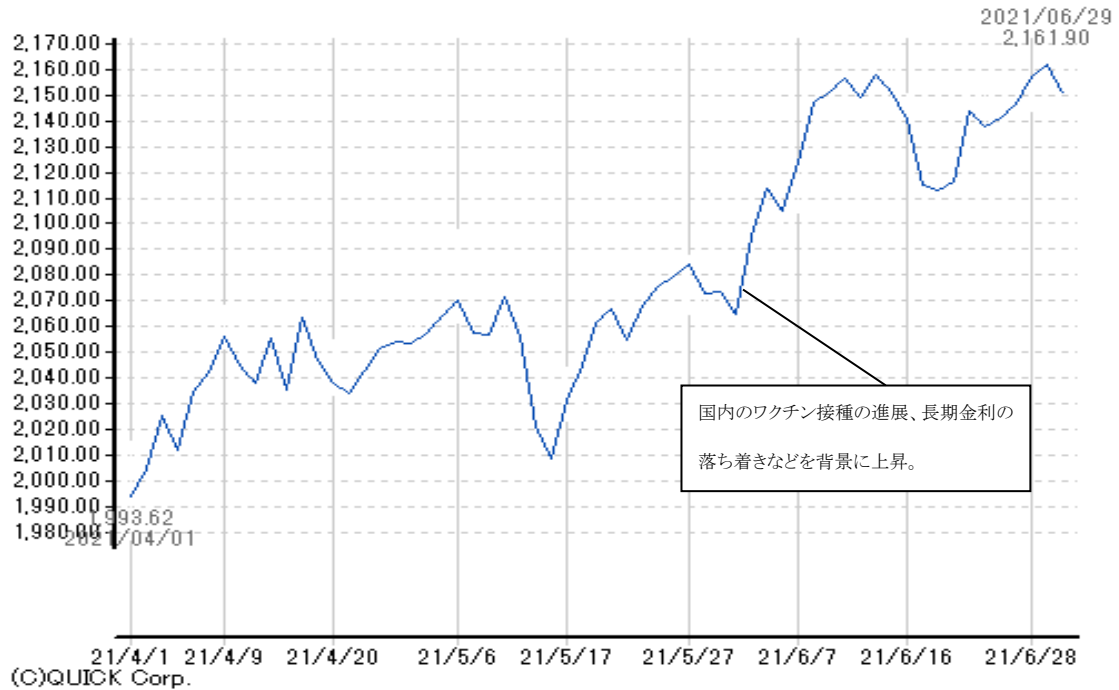
- 4月から6月のJ-REIT指数は8ヶ月連続で上昇した。月末値ベースでは2020年1月末以来の高水準となり、配当込み指数は2019年10月末値を抜いて史上最高値を更新した。6月は61銘柄のうち55銘柄が上昇し、なかでも物流施設銘柄の上昇が顕著であった。
- 6月22日、東海道来重点投資する総合型REITの東海道リート投資法人が上場した。上場時の物件数は8棟、資産規模は303億円で、旗艦物件の浜松プラザの底地と物流施設がポートフォリオの半分を占める。初値は101,500円で、REITの上場は、2019年12月のSOSiLA物流リート投資法人の上場以来、コロナ禍を経て1年半ぶりとなった。

### V: Financial Market Outlook

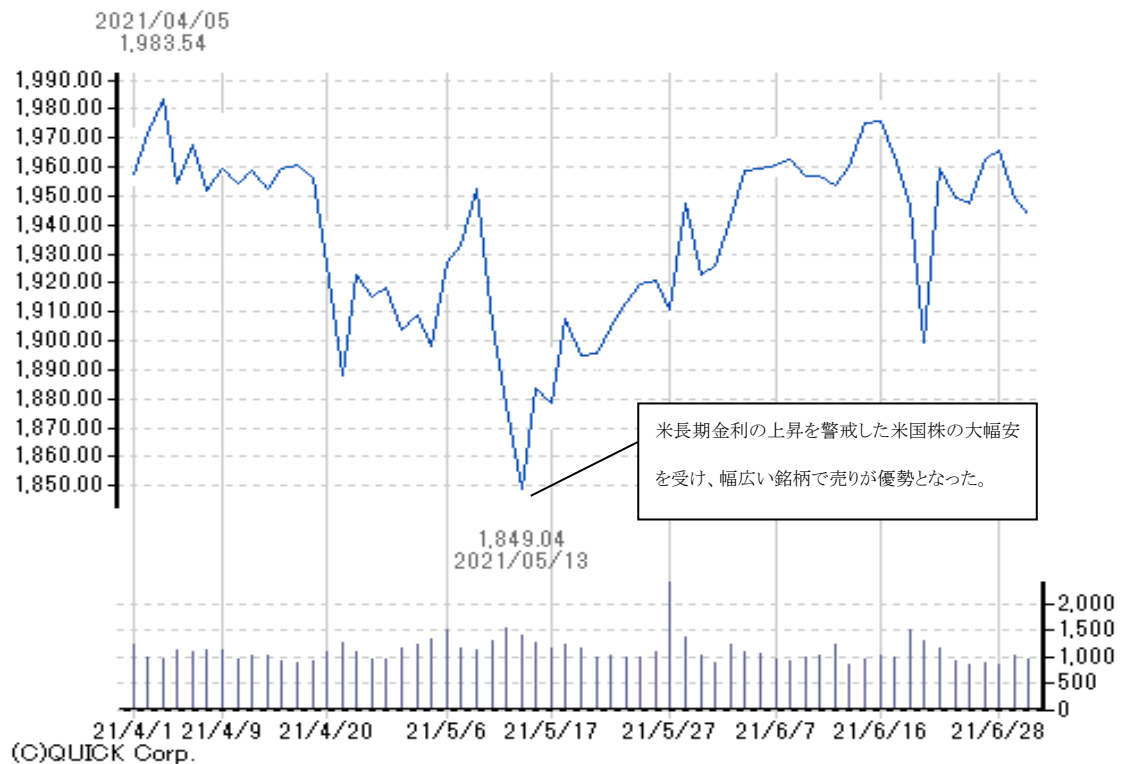
- 2021年第1四半期(4月-6月)の世界市況は、依然として不確実な状況が続いている。世界各国が変異株の拡大やワクチンの普及といった困難な課題に直面している。他方で、バイデン政権は4月29日で就任100日目を迎えたが、ビルド・バック・ベターのスローガンのもと、ワクチンの接種ペースを加速、1回以上接種した人の割合は人口の5割弱に達しているほか、第3弾となる大規模な経済政策を打ち出すなど着実に公約を実施している。

世界経済の基盤はやや安定してきてはいるものの、国によっては医療崩壊の危機が生じており、各国の混乱や政策支援の規模が多様であったことを反映して、先進国と新興国・途上国の間でばらつきが出ている。世界経済は回復の方向性では一致しつつも、今後は、広がる回復の格差を管理し、ワクチンの普及率や大規模経済対策がどれだけ奏功するかが注視される。

【東証 REIT 指数】



【TOPIX】



## 【各種経済指標】

指標	令和3年3月末	令和3年6月末
TOPIX	1,954.00 ポイント	1,943.57 ポイント
ドル/円	110 円 70 銭	111 円 10 銭
ユーロ/円	129 円 82 銭	131 円 70 銭
東証 J-REIT 指数	2,013.08 ポイント	2,150.73 ポイント

**重要なお知らせ**

本資料は情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の投資や取引を勧誘するためのものではありません。本資料のデータは信頼できるソースに基づき記載されてはおりますが、その完全性や正確性を保証するものではありません。本資料に於きます当社の見解も現時点のものであり、将来的には予告なく変更される場合がございます。つきましては、投資のご判断はお客様ご自身で行ってくださいますよう、御願いたします。

又、本資料は当社の著作物ですので、本資料の引用や転載、複製を禁じます。

東京キャピタルマネジメント株式会社

関東財務局長(金商)第1388号(投資運用業、第二種金融商品取引業者、投資助言・代理業)